



子育て支援講座



介護講座

用体験、また介護現場で実習を行うなどしました。座学と実地研修を終えて修了証を手にした受講生の皆さんは、今後各講座それぞれの専門分野で支援サポーターなどとして地域での活動を行う予定で、シニア世代のさらなる地域貢献活動に期待が寄せられています。

徳島県シルバー大学校大学院

◆地域の担い手を目指し14期生169人が入学

徳島県シルバー大学校大学院14期生の入学式が5月12日、県立総合福祉センター（徳島市中昭和町）で行われ、ことし入学した7講座169人（歴史・文化30人、健康スポーツ32人、ICT①25人、ICT②25人、ICT③15人、ICT④17人、防災25人）の各講座代表者に入学許可証が同大学院校長の飯泉嘉門知事から手渡されました。

続いて、飯泉校長が「県シルバー大学校大学院OBの方々は生きがいづくり推進員として地域で活躍しています。皆さんもこれからの地域を支えるリーダーとして専門的に学び、卒業後は地域社会に大いに貢献してください」などと式辞を述べました。

この後、徳島県議会・木南征美議長、徳島県老人ク



式辞を述べる飯泉嘉門校長

ラブ連合会・伊丹一夫会長、徳島県シルバー大学校大学院OB会・高木正紀会長から励ましの祝辞があり、最後に入学生代表の森久雄さん（83歳）が「吉野川市」が「学んだ知識を生かし、地域社会の担い手として活躍できる人となることを目指し、頑張って学習に取り組んでいきます」と、力強く宣誓しました。

なお、第14期生の皆さんは来年3月まで週1回程度の講座を受講します。



入学生に入学許可証を手渡す飯泉嘉門校長



入学生を代表して宣誓をする森久雄さん